

2008年度 カッコウ調査報告書

郡山市の鳥『カッコウ』は、毎年何羽くらいが飛来しているのかを知ろうと始めたこの調査も、多くの小・中・高等学校児童生徒と市民の協力により、今年で15年を積み重ねるようになった。そしてそれなりの成果があったとの自負もあるが、調査方法、データの集約・解析などを検討しながらも、比較・検討の都合上、ほぼ当初の手法を引き継いでいる。調査の概略とその結果を以下に示す。

1. 調査の趣旨 郡山市の鳥がカッコウであることに因み、小・中・高等学校の児童生徒 および一般市民の協力を得てカッコウ調査を行なうことにより、野鳥愛護と自然保護の啓蒙にも資する。

2. 調査期日 2008年6月10日 午前7時から7時5分までの5分間。

3. 調査方法 郡山市の各小・中・高等学校の児童生徒へのアンケートによる。
アンケートの要点は、上記時間内にカッコウの声を聞いた（姿を見た）かどうか。

4. アンケート用紙の送付数 各学校生徒数の約1/5を目安に送付（前年に同じ）

小学校	59校	4580枚	（前年4530）
中学校	29校	2400枚	（2480）
高等学校	16校	2660枚	（2680）
野鳥の会会員その他		360枚	（310）
総計		10000枚	（10000）

5. アンケート返送数

小学校	48校	2162枚	（1667）
中学校	21校	1710枚	（1442）
高等学校	9校	710枚	（536）
野鳥の会会員その他		168枚	（57）
総計		4748枚	（3693）
		【47.5%】	【37.0%】

6. アンケート回答の集計

- ① 規定時間内確認（姿を見た・声を聞いた） 487（10.3）[499（13.5）]
② 時間内確認なし 3999（84.2）[3026（81.9）]
③ 不定期確認あり 1717（36.2）[1724（46.7）]

7. 時間内確認地点のコンピューター入力と地図上への打点

6-①の487地点を同一地名毎に集約整理。さらにこの地点を16000分の1の地図上の該当個所に赤印で打点する。

ただ、確認地点標記が不十分・不正確なために、地図上に打点出来ないものもあって 確認数と打点数は一致していない。

8. 各打点が同一個体か異個体かの判定。

1つの円に出来るだけ多くの打点が含まれるように、そして円どうしが交差せずしかも出来るだけ少ない数の円で、全打点がいずれかの円に含まれる様な円を描く。

ただし確認は複数者によることを原則として、1つの円には2個以上の打点を含むように作円する。

前年までの調査結果と比較するためにも、円の大きさは前年とほぼ同じ。そして並行して行なったカッコウの声の聞こえる範囲を考慮して、円の半径は次の3とうりとする。

市街中心部	300 m
市街部	400 m
郊外部	500 m

9. 大部分の打点を囲むために描かれた円の数。

67 (昨年 63)

1つの円内の各打点は、5分間という短い時間、カッコウの声の到達距離、そしてこれまで観察された他の場所への移動の習性等を考えて、同一個体と見る。

同時に、この時期のカッコウの鳴声は、縄張り宣言であり、メスへの求愛でもあることから、1つの円内には雌雄1つがいのカッコウがいるものと考える。

10. 2008年度のカッコウ生息数。

以上のような条件を前提として郡山市のでは市街地域では

$67 \times 2 = 134$ 羽 のカッコウがいた と推計する。

【考察】

1998年以降の状況でいえば、何がその要因か分からぬまま過ぎた2005年の極端な減少以外は、この10年ほどは、ほぼ安定した飛来数を示している。

昨年度が1.26羽、今年度が134羽は暖冬、酷暑、集中豪雨などの気象異常も1年というスパンで見るとカッコウの飛来にはそれほど影響しなかったといえる。

また飛来地郡山でのカッコウ生息環境に大きな変動がなかったということでもあるといえよう。

本年度の調査結果から

- ① アンケート送付総数は昨年同様であるが、返送数は47.5%で昨年より1055多い。しかし規定確認数が昨年とほぼ同数であることは、生息ポイントでない地域がよりはっきりしたとも言える。逆からいえば生息ポイントがより明

確になったともいえる。

- ② 調査不参加校が小・中・高合わせて26校（昨年16校）。このことが確認地点分布図に影響しているかどうかみる。

昨年度の分布図と比較しても、その分布域に特に空白部がでてきたという場所はないので、あまり大きな影響はないものといえる。

- ③ 同一地域・隣接学区の何校かが不参加になっても、全市学区の高校生がその穴を埋めるように機能していて、一般市民・野鳥会員共々貴重な調査者になっている。また県中教育事務所、市公園緑地課、生活環境課などの協力も貴重である。

- ④ 磐越西線と4号バイパスに挟まれた日和田・喜久田地域の空白部は依然として空白のままであるが、生息状態が無いのか調査者がいないのか検討する必要がある。

11. この地域（市街部）に含まれない地域…郊外地域

使用地図が16000分の1の郡山市主要部図であるため、次の地域は別地図での扱いとなる。

- ① 湖南地域
- ② 熱海、逢瀬、片平・三穂田 地域の一部
- ③ 西田、中田、田村地域の一部

12. 郊外地域の打点処理および集約円

上記3地域は別地図（50000分の1 郡山市全図）で処理。集約円は半径500m。標本数が少ないので、分散している1打点＝1集約円＝2個体とみなす所も多い。

	集約円の数	
① 地域	5	（ 昨年 2 ）
② 地域	10	（ 18 ）
③ 地域	14	（ 14 ）
計	29	（ 34 ）

郊外地域でのカッコウ生息数

$$29 \times 2 = 58 \quad (\text{昨年 } 68)$$

郊外地域に関わる若干のコメント

郊外地域の打点空白域が広いのは、山林・原野など、人家・集落の無いところ、すなわち調査者のいないところで、カッコウがいないということではない。複数確認は難しいので1打点＝1集約円でも計測数に入れる

したがって、市街地域と郊外地域を機械的に合算してもあまり意味がない。市街地と同様、数的には前年より減少を示しているが、ここでは増えた・減ったをいうのではなく今回は集落等の近くで58羽を確認したと読み取るにとどめる。

ただ、阿武隈川の東にはカッコウがいない（少ない）とされてきた伝聞？が、確認点分布図の上から見ると2004年調査あたりから揺らいでいるようにも見えるがまだなんともいえず、この地域の調査にもより注意を向けておく必要がある。

13. カッコウ調査、次年度に向けて

市にしても民間にしても、環境を大きく変える大規模開発はないだろうが、小規模な遊休地・荒地・原野・水辺や湿地等が整備・開発で一見きれいにされつつ無くなっていくこともたしかであろう。

しかしこう言った場所こそ大動物はいないものの雑草→昆虫→野鳥といった生態系の基盤であり、生物多様性の展開の場であるはず。

ひきつずき次年度も調査活動も継続するが、上記生態系基盤の保護保全のための活動も必要だろう。

同時に市環境保全・生物多様性保存の環境指標が『カッコウ114羽』に設定されていることもあるので、市は具体的にどんな取り組みで、数値目標を持続させるつもりなのか、市と提携しながら具体的な提案や活動を模索したい。

14. 終りに

今年度のカッコウ調査も、多くの児童生徒の皆さんを始めたくさんの方々のご協力のおかげで、まとめあげることができた。

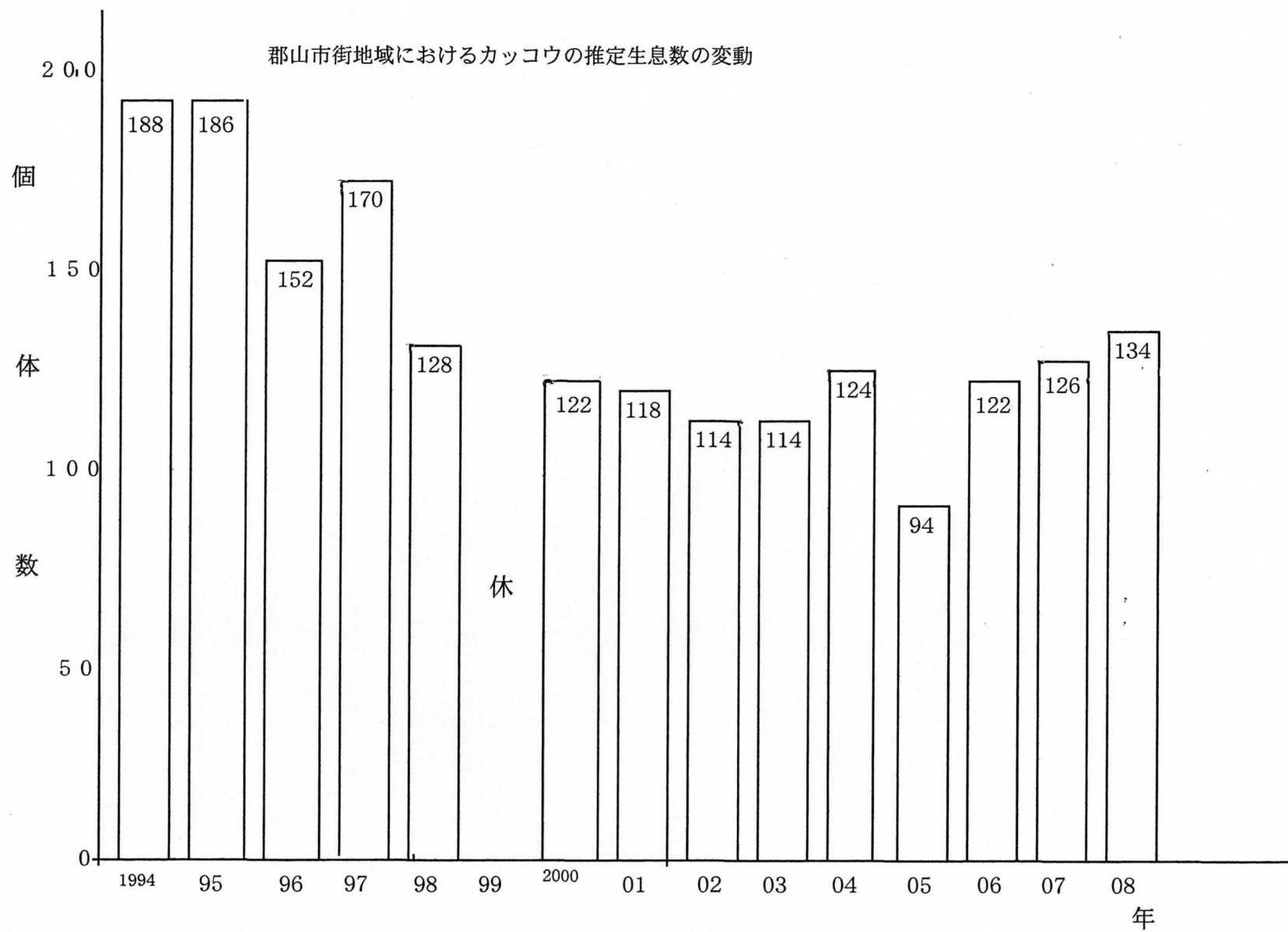
とくに自校でアンケート用紙を増し刷りして、より多くの調査協力者を確保してくれる学校が大変多くなっていることに、心から感謝申し上げる。

また市公園緑地課や生活環境課、県中教育事務所、高篠山などなどもそれぞれに組織的なご協力を頂き、心強いかぎりであった。

音楽都市郡山といわれるが、5月～7月にかけて30万人の人が住む大都会でこれほどどこにいても『カッコウ』の聞こえる都市は、あまり例を聞かない。

『市の鳥カッコウ』がお題目だけでなく、『爽やかなカッコウの聞こえる街郡山』であり続けるよう、全市民のものとしてそれが誇れるよう、これからもがんばりたいものである。

郡山市街地域におけるカッコウの推定生息数の変動



カッコウ・ツバメ・調査付属コメント

* 自宅周辺では毎日カッコウの姿、鳴声が早朝から夕刻まで 10〜15 回くらい確認できます。

古川（第三池）が近くにあり、オオヨシキリ、またモズが数多く確認できます。

ツバメは毎日確認できます。 (安積町日出山)

* いつも見かける場所で少し減ったけど巣くっていた。 (安積町日出山)

* ツバメがいつも見かけていた場所にはいなくなってしまった。 (安積町永盛)

* いつも見ていなかったけど今年は見た。 (安積町)

* 2 年に 1 回ツバメの巣は私の家の屋根の所に作りに来ます。 (安積町荒井)

* 規定時間では鳴かなかったが学校（郡山四中で）に来て 8 時頃カッコウが鳴いていた。 (あぶくま台)

* 国道 49 号線の谷田川のセブンイレブンに 3 つの巣がありました。もう少しで巣立ちが近い感じでした。 (池の台)

* 当日は調査時間帯のみ鳴かなく、朝 4 : 00 頃より終日鳴いていました。例年よりオナガがいなくなった。 (大槻町上西田)

* ここは大きな道路に面していますが、毎年庭のキンモクセイにモズが巣を作りひなを育てています。6 月上旬になるとかわいいヒナの鳴声が聞かれ、こんな場所ですが捨てたものじゃないな…とうれしく思っています。

自然のワラや草木が少なくなっているので鳥たちも不便を感じているらしくビニールの紐を利用して巣作りをしていました。来年もまたその先も鳥たちに家のキンモクセイを提供したいです。 (大槻町御前東)

* 6/10 5:00 前と 7:10〜15 頃も鳴きました。 (大槻町中谷地)

* 巣立ちしたヒナがずっと前死んでいました。前はヒナが巣立ちしようとして落ちてし

まっていた。ギフトプラザの人が段ボールに入れました。

なぜおちるのですか？（ツバメ）

（大槻町小山田）

* ツバメ・3月末に自宅に巣を作り子は巣立っていきました。

（大槻町仁池向）

* ツバメは家の外の壁に毎年巣を作っています。今年は3コ巣を作っています。巣立つのが楽しみです、名前もつけました。「メラ・ラリ・ラン・ピア・ミナ」などほかです。

（片平町庚垣原）

* 今年のカッコウがよく啼きます。モズがいて、オナガがいて、賑やかです。ツバメは少ないように思います。

（亀田 1）

* カッコウ調査ごくろう様です。5月21日発鳴きでした。その後毎日のように声を聞いていますが、姿は見えていません。本日は残念ながら声も聞かれませんでした。近所の葦原も小さくなり、オオヨシキリも寂しげに鳴いています。今年初めてキビタキの声を2回聞きました。近所のヤブの中からです。モズは今年も元気そうです。

（喜久田町赤沼向）

* もう少し暖かくなったら聞こえてくると思います。

（喜久田町赤沼向）

* 調査時間をもう少し早めるか、休日にしてください。登校時間になってしまいます。（7：05には家を出ます）

（喜久田町早稲原）

* 学校の近くでよくカッコウが鳴いていました。

（桑野 4）

* 布引高原で6/7(土)お昼頃鳴いていました。

（湖南町赤津）

* この場所では全く聞かない。

（咲田 1）

* 須賀川の鏡石町の岩瀬牧場の中のモズの巣の近くでカッコウの声が聞こえる。

（咲田 2）

* 昨年もカッコウの数が少ないと思いましたが、今年は更に少ないように感じます。6月に入れば昭和町の住宅地のあちこちのテレビアンテナの上で鳴く姿が見られましたが、今年は家の近くで鳴声を聞いたのは5回。それもあっという間に飛んでいってしまいました。一日中どこかしらで鳴いている声が聞かれた数年前が懐かし

い思い出になりつつあります。

(昭和町 2)

*軒先に何年も前から作られているツバメの巣から6/5頃5羽の子が巣立ちました。

祖母の話ではカッコウはまだ早いんじゃないかといっていた。(白岩町堀の内)

*自宅近くで今年一番目に鳴き声が聞こえたのは5月9日でした。6月10日は午前

5時40分頃鳴き声が聞こえました。(堤 2)

*おばあちゃんの家にはツバメの巣がありましたが、カラスに荒らされて、なくなってしまいました。おばあちゃんの家屋根にスズメのような巣があり、ひながいます。

(堤 2)

*決められた時間にカッコウではなくウグイスが鳴きました。

(鶴見坦 1)

*今年のカッコウ初聞き5/17 AM 5:25。8時頃まで数回聞いたが、調査時には

聞かなかった。(富田町日吉が丘)

*最近、富田中学校沿いにあるお墓を覆っていた大きな木がすべて伐採されてよく聞

こえたカッコウの声が全く聞こえなくなった。(富田町音路)

*カッコウはあまり見ないけどいなかの方では見かける。ツバメはこの近くでもたくさん見かけて、巣の中のヒナもしょっちゅう見かけることが多い。昔はたくさん

カッコウがいたらしい。(豊田町)

*今年は5月15日自宅で初鳴き声を聞くことができました。5月20日頃から一晩中

(夜中) 鳴き声が約一週間続きました。その後も不連続に鳴声は聞きました。また

7月11日朝3時頃から近くの神社の大木から鳴き声が聞こえてきます。

ツバメは時々飛ぶ姿は目にすることができます。(鳴神 3)

*昨年までは(2007年)1・2度カッコウの声を聞きました(家の中で)が、今年は

1度も聞かれませんでした。朝、酒蓋池に行ってみますと、オオヨシキリはいますが

カッコウの声は聞くことはありません。(麓山 2)

*1週間前6/3自宅東二階の屋根の内側にツバメが巣を作りました。(日和田千峯坦)

* 今年のカッコウが 5 月 15 日 6 : 00 頃来て鳴く。ホトトギスが毎日聞かれます。

カッコウは例年より少ないようです。大きな土手のヨシがやかれてすくないためか
と思います。特に昨年あたりからガビチョウが多く、ヨタカも来るようになりました。

(日和田梅沢)

* 自宅ベランダにて 6 月 9 日 (月) 午前 3 時頃小鳥たちの声を聞きました。

今年 5 月に、ツバメが電気メーターの所に巣を作りましたが、猫がウロウロしている
せいか、ツバメが戻らなくなりました。

(日和田高倉)

* 午前 6 時ちょうどにカッコウが鳴きました。 5 年前家にツバメが巣を作りましたが
もう使われていません。

(日和田南原)

* 7 : 00 に聞こえたカッコウ一回だけ。

(日和田財ノ木

原)

* 自宅の玄関先に毎年巣を作るのですが、ここ 2-3 年前からスズメがいたずらをして
卵を落としてしまい、今年はヒナがかえりませんでした。とても残念に思います。

(日和田高倉)

* こどもたちが楽しく調査してました。生息数の調査法を知ることができて、勉強に
なりました。

(富久山久保田)

* 通常はごく近くで鳴いておりますが、当日は遠くで鳴いておりました。今年の初鳴
は 5 月 18 日。今年はカッコウよりもホトトギスの鳴き声が多い。

送り先の明記が執必要では。ポストばかりでなく。

(富久山久保田)

* キジが自宅周りを毎日歩いています。トンビもよく空を飛んで回っています。ウグ
イスもよく鳴きます。鳥ではなくてタヌキや野うさぎもいます。ヘビもいっぱい出ま
す。20cm 位の黒っぽい、2羽で一緒にいない鳥や、名前のわからないものも
よく飛んできます。一日中鳥の鳴き声が聞こえているところです。(富久山八山田)

* カッコウは鳴いていませんが、キジは歩いているのを見かけます。(富久山八山田)

* カッコウは毎年この時期になるとやって来ます。一度姿を見たのですが結構大きいで
すね。その他、春先にはウグイスや「腹ぶっちゃけたー」はホトトギスでしょうか？

初めなんとも心もとない鳴き声だったのが、だんだんとしつかりした鳴き方に変わって行く（成長していく？）のを楽しめます。その他「ジッチュ ジッチュ ジッチュ ジッチュ ジッチュ ジッチュ」と鳴く鳥（すみません名前がわかりません）や、早朝に毎日「ジッ ジッ ジッ ジャーッ ジャーッ」と元気なヨシキリの声、庭にはセキレイやヒヨドリ・頬が白いのシジュウカラ？わきを流れる用水路（水田用？）では毎日カモの親子が見られます。何年か前には美しいカワセミが増水したところに流れてきた小魚をとる姿（ビデオに撮りました）もみられました。

ここには白いサギも時々姿を見せます。とても美しいです。ヒバリ・トビ・ケーン ケーンはキジ？の声も聞かれます。近くの空き地の大群はムクドリ？木にはノバト？の巣。冬になるとコムラサキ（紫式部）の実を食べに毎年ヒタキが、昨冬はにはツグミのつがいらしき2羽もよく来ました。今年見たヒタキは少し丸く色が違うと思っていたのですが、もしかするとヤマガラかもしれません。

その他ツバメ、カラス、スズメはもちろんいろいろな鳥の声を聞きますが、知識がなく、何がどのくらいいるのかは分かりません。近くには水田、湿地もあるようです。庭には農薬を使いませんので、エサとなる昆虫やクモが沢山いるのでしょう。

以前電話中に「いつも鳥の声が聞こえていいね」と言われました。よい環境に感謝です。（調査対象地区に住む者より）

（富久山久保田）

*カッコウ大安場史跡公園、西部工業団地においても聞きました。（町東 2）

*今年は1〜2回聞きました。前日？（三穂田 駒屋）

*もっと早い時間に鳴いています（AM 4:30 〜 6:00）姿を見ることもできます。（八山田 3）

*（規定時間には）ホトトギスが鳴いている。（八山田 7）

*私の庭によく朝食の残りの食パンをまいて、それを食べに来る鳥をいつも見るのですが、スズメやカラスは来るのにカッコウは来ません。カッコウはパンが嫌いだったりするのでしょうか？ でも人が見ていると気づいて、近づかないのかもしれませんが。

最近カッコウの声を聞きません…。昔は数十匹位が鳴いているのをよく聞きましたが、最近は鳴いているのも聞かないし、鳴いたとしても数匹の声しか聞きません。しかし聞こえたときに外を見ると、モズやスズメと一緒にいる所を目にします。

〈横塚 5〉

*郡山市ではないが聞えるかどうか調べて見た。場所は さくら湖さくら公園と
船引町船引。どちらでも規定時間内にカッコウは聞かれなかった。

この他にツバメの巣についての体験が細かく述べられていますが省略させて
頂きました。 〈田村市船引町〉

*昨年も“遅い”と思ったのですが今年も6/8ーウグイスが頻繁に鳴いています。
以前より時期が遅くなっているように思います。相手が見つからなくなったのか
なあ〈減っている〉。

ツバメが来るのは早くなりました。昨年は3月の終わりでした。

(調査地記載なし)